

(2) 沖縄県対策外来種リスト

平成 30 年 8 月に策定された沖縄県外来種対策指針が対象とする外来種リストを以降に示す。

沖縄県対策外来種リスト

平成 30 年 8 月

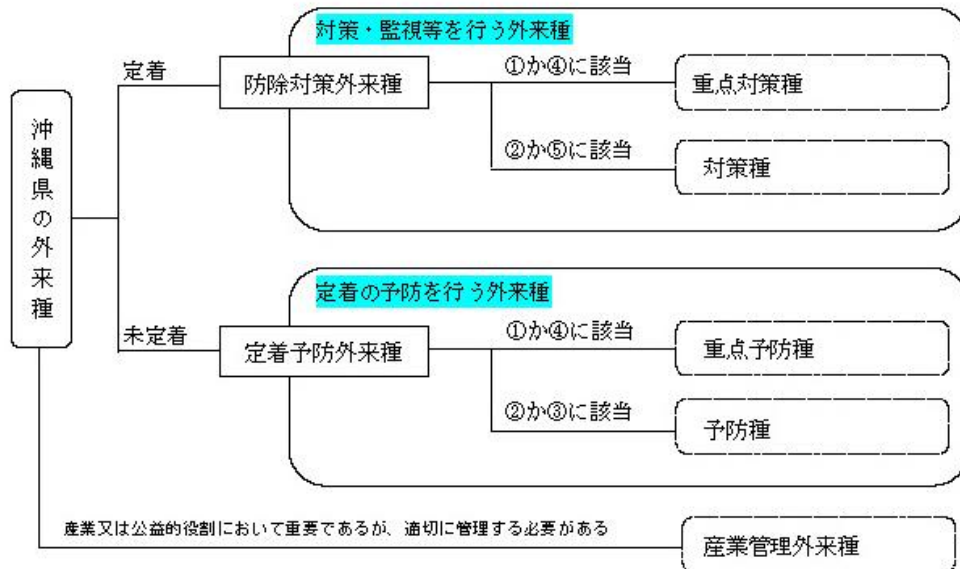
沖 縄 県

目 次

1 沖縄県における対策外来種の区分	1
2 沖縄県対策外来種リスト分類群別掲載種類数一覧	2
3 重点対策種の選定理由	3
4 重点予防種の選定理由	4
5 沖縄県対策外来種リスト	5
(1) 哺乳類	5
(2) 鳥 類	6
(3) 爬虫類	7
(4) 両生類	9
(5) 魚 類	10
(6) 甲殻類	12
(7) 貝 類	13
(8) 昆虫類	14
(9) その他の節足動物	15
(10) その他の動物	16
(11) 植 物	17

沖縄県における対策外来種の区分

沖縄県における対策外来種を以下の基準により5種類に区分したうえで、委員や専門家等の助言等を踏まえて、決定した。



- ① 「生態系被害防止外来種リスト」での区分が『緊急対策外来種』
- ② 「生態系被害防止外来種リスト」での区分が『重点対策外来種』、『その他の総合対策外来種』
- ③ 「生態系被害防止外来種リスト」での区分が『侵入予防外来種』、『その他の定着予防外来種』
- ④ 「生態系被害防止外来種リスト」に該当しない種で、国内由来・県内由来の生物について、下記条件のうち、a～dのいずれかとeを満たす種
- ⑤ 「生態系被害防止外来種リスト」に該当しない種で、国内由来・県内由来の生物について、下記条件のうち、a～dのいずれかを満たす種

条件

- a. 生態系に係る潜在的な影響・被害が特に甚大（注）
- b. 生物多様性保全上重要な地域に侵入・定着し被害をもたらす可能性が高い
- c. 絶滅危惧種等の生息・生育に甚大な被害を及ぼす可能性が高い
- d. 人の生命・身体や農林水産業等社会経済に対して甚大な被害を及ぼす
- e. 防除手法が開発されている、又は開発される見込みがある等、一定程度の知見があり、対策の目標を立て得る

(注)生態系に係る潜在的な影響・被害が特に甚大：下記(1)～(4)のいずれかにあてはまるもの=被害の甚大性あり

- (1) 競合：希少種、有用種、生態系を構成する主要な在来種との競合が国内・外で報告されているか、同一の資源（餌・環境）を利用する。国内外の重要な生息・生育環境で高密度化、優占が知られている。他種の生育を阻害する。
- (2) 交雑：同属・近縁の在来種が存在し、交雑による遺伝的攪乱の可能性がある。
- (3) 捕食：国内外の情報から在来種を大量に捕食する可能性があるとして判断される。
- (4) 生態系の改変：新たなニッチに定着し、食物連鎖を改変する可能性がある。在来種の生育しにくい環境（礫河原、海浜、干潟、益楽養湿地等）に定着し、密生する可能性がある。河川、沿岸において砂の堆積もしくは侵食を促進する、生育地を富栄養化させる可能性がある。

沖縄県対策外来種リスト分類群別掲載種類数一覧

分類群	防除対策外来種		定着予防外来種		産業管理 外来種
	重点対策種	対策種	重点予防種	予防種	
哺乳類	5	5	1	26	0
鳥類	2	3	0	13	0
爬虫類	3	9	1	14	0
両生類	1	5	0	9	0
魚類	0	18	0	39	0
甲殻類	0	2	0	15	0
貝類	0	11	0	15	0
昆虫類	1	3	3	15	3
その他の節足動物	0	2	1	6	0
その他の動物	0	4	0	2	0
植物	2	81	0	51	0
合計 (371)	14	143	6	205	3
	157		211		

防除対策外来種：沖縄県内に定着しており生態系への影響が懸念される外来種
 重点対策種：沖縄県内に定着しており、生態系への影響が大きいことから重点的に駆除等を実施する必要がある外来種
 対策種：沖縄県内に定着しており、生態系への影響が一定程度あると考えられる外来種
 定着予防外来種：沖縄県内には未定着であるが、生態系への影響が懸念される外来種
 重点予防種：沖縄県内には未定着であるが、侵入した際の生態系への影響が大きい外来種
 予防種：沖縄県内には未定着であるが、生態系への影響が一定程度あると考えられる外来種
 産業管理外来種：産業又は公益的役割において重要であり、現状では生態系への影響がより小さい代替性を有するものがないため、利用において移出等の防止のための適切な管理が必要な外来種

重点対策種の選定理由

- ①希少種への被害が顕在化している種
- ②やんばる等の重点的に保全すべき地域での影響が懸念される種
- ③外来種対策事業等で技術開発に取り組んでいる種
- ④有害鳥獣捕獲等で捕獲に取り組んでいる種

分類	種名	選定理由
哺乳類	ノネコ <i>Felis silvestris catus</i>	① 本島北部地域においては、希少種等への被害が顕在化しており、世界自然遺産候補地としての価値を維持するためにも早急な対策が必要である。 ②
	ファイリマングース <i>Herpestes auropunctatus</i>	① 本島北部地域においては、希少種等への被害が発生している。長年の防除作業の結果、マングース捕獲数が減少しているほか、希少種の生息数も回復傾向にあることから、今後も継続した実施が必要である。 ② ③
	ニホンイタチ <i>Mustela itatsi</i>	① 現在外来種対策事業において、捕獲手法の開発に取り組んでおり、引き続き検討を重ねるとともに、県民への普及啓発を図る必要がある。 ② ③
	ニホンイノシシ（イノブタを含む） <i>Sus scrofa leucomystax</i>	① 渡嘉敷村および座間味村で農業被害が発生しており、今後沖縄県において指定管理鳥獣捕獲等事業を実施する計画である。在来のリウキュウイノシシとの交雑も懸念される。 ② ④
	ノイヌ <i>Canis lupus</i>	① 本島北部地域においては、希少種等への被害が顕在化しており、世界自然遺産候補地としての価値を維持するためにも早急な対策が必要である。また、人への被害が懸念される。 ②
鳥類	インドクジャク <i>Pavo cristatus</i>	① 現在外来種対策事業において、捕獲手法の開発に取り組んでおり、胃内容物調査の結果では、主に植物質を餌としていることがわかっている。今後、更に調査を進めることで、生態系への影響を確認する必要がある。 ③
	コウライキジ <i>Phasianus colchicus karpowi</i>	② 有害鳥獣としての位置づけで主に伊是名村において捕獲作業が進められている。今後も市町村等において駆除に取り組む見通しがある。 ④
爬虫類	グリーンアノール <i>Anolis carolinensis</i>	① 小笠原では希少種の捕食が問題化しており、本島北部地域に侵入してしまうと防除が困難になることから、効果的な防除手法の確立と、新たな場所に侵入が見られた場合の初期防除の体制構築が重要となる。また、現在外来種対策事業において、捕獲手法の開発に取り組んでおり、引き続き検討を重ねるとともに普及啓発を図る必要がある。 ② ③
	タイワンスジオ <i>Elaphe taeniura friesii</i>	② 現在外来種対策事業で捕獲手法の開発に取り組んでおり、引き続き検討を重ねるとともに、県民への普及啓発を図る必要がある。 ③
	タイワンハブ <i>Protobothrops mucrosquamatus</i>	② 在来種が捕食されることによる生態系被害、在来ハブとの交雑による遺伝子汚染、人への咬傷被害が懸念される。現在、県保健医療部において取組がされており、今後も取り組む見通しがある。
両生類	オオヒキガエル <i>Bufo marinus (Rhinella marina)</i>	① ハワイやグアムなど島嶼生態系において甚大な被害をもたらしている侵略的外来生物であり、石垣島では定着が確認されており、今後西表島など周辺離島への侵入・定着を予防するため、関係機関と連携した取組を強化する必要がある。 ②
昆虫類	サイカブト（タイワンカブトムシ） <i>Oryctes rhinoceros</i>	① 大東諸島の固有種であるヒサマツサイカブトとの競合による影響が懸念されるほか、ピロウの食害により大東島の生態系に与える影響が懸念されることから、関係機関と連携した取組を強化する必要がある。
植物	アメリカハマグルマ <i>Sphagneticola trilobata</i>	② 沖縄県全域からの除去は困難を極めるが、保全すべき地域に絞って除去を実施する等の対策を検討する必要がある。
	ツルヒヨドリ <i>Mikania micrantha</i>	② 大宜味村においては、竹林への被害も出ており、やんばる地域への侵入により生態系への影響が懸念される。今後、農林部局や地域と連携した効果的な防除の方策を検討していく必要がある。

重点予防種の選定理由

分類	種名	選定理由
哺乳類	アライグマ <i>Procyon lotor</i>	生態系被害防止外来種リストで緊急対策外来種に指定されており、沖縄県で過去に確認されている。
爬虫類	カミツキガメ <i>Chelydra serpentina</i>	生態系被害防止外来種リストで緊急対策外来種に指定されており、沖縄県で過去に確認されている。
昆虫類	アルゼンチンアリ <i>Linepithema humile</i>	生態系被害防止外来種リストで緊急対策外来種に指定されている。
	アカカミアリ <i>Solenopsis geminata</i>	生態系被害防止外来種リストで緊急対策外来種に指定されており、沖縄県で過去に確認されている。
	ヒアリ <i>Solenopsis invicta</i>	生態系被害防止外来種リストで侵入予防外来種に指定されている。専門家の意見により重点予防種とした。
節足動物 その他	セアカゴケグモ <i>Latrodectus hasseltii</i>	生態系被害防止外来種リストで緊急対策外来種に指定されており、沖縄県で過去に確認されている。

(1) 哺乳類

定着状況
○：定着
△：侵入記録あり
×：未侵入

1) 防除対策外来種(沖縄県に定着しており、生態系に影響があると考えられる外来種)

①重点対策種(5)

科	和名	学名	定着状況	特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト区分
イヌ	ノイヌ(イヌの野生化したもの)	<i>Canis lupus</i>	○		重点対策外来種
イタチ	ニホンイタチ	<i>Mustela itatsi</i>	○		緊急対策外来種
マンゲース	フイリマンゲース	<i>Herpestes auropunctatus</i>	○	●	緊急対策外来種
ネコ	ノネコ(イエネコの野生化したもの)	<i>Felis silvestris catus</i>	○		緊急対策外来種
イノシシ	ニホンイノシシ(イノブタを含む)	<i>Sus scrofa leucomystax</i>	○		重点対策外来種

②対策種(5)

科	和名	学名	定着状況	特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト区分
ウサギ	カイウサギ(アナウサギ)	<i>Oryctolagus cuniculus</i>	○		重点対策外来種
ネズミ	ハツカネズミ	<i>Mus musculus</i>	○		重点対策外来種
	ドブネズミ	<i>Rattus norvegicus</i>	○		重点対策外来種
	クマネズミ	<i>Rattus rattus</i>	○		緊急対策外来種
ウシ	ノヤギ(ヤギの野生化したもの)	<i>Capra hircus</i>	○		緊急対策外来種

2) 定着予防外来種(沖縄県では未定着であり、定着を予防すべき種)

①重点予防種(1)

科	和名	学名	定着状況	特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト区分
アライグマ	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>	△	●	緊急対策外来種

②予防種(26)

科	和名	学名	定着状況	特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト区分
クスクス	フクロギツネ	<i>Trichosurus vulpecula</i>	×	●	その他の定着予防外来種
ハリネズミ	ハリネズミ属(アムールハリネズミ(マンシュウハリネズミ)など)	<i>Echinocactus spp.</i>	×	●	重点対策外来種
オマキザル	リスザル	<i>Saimiri sciureus</i>	△		その他の総合対策外来種
オナガザル	タイワンザル	<i>Macaca cyclopis</i>	×	●	緊急対策外来種
	カニクイザル	<i>Macaca fascicularis</i>	×	●	その他の定着予防外来種
	アカゲザル	<i>Macaca mulatta</i>	×	●	緊急対策外来種
リス	クリハラリス(タイワンリス)	<i>Callosciurus erythraeus</i>	×	●	緊急対策外来種
	フィンレイソンリス	<i>Callosciurus finlaysonii</i>	×	●	その他の定着予防外来種
	タイリクモモンガ	<i>Pteromys volans</i>	×	●	その他の定着予防外来種
	トウブハイイロリス	<i>Sciurus carolinensis</i>	×	●	その他の定着予防外来種
	キタリス	<i>Sciurus vulgaris</i>	×	●	緊急対策外来種
	シマリス(チヨウセンシマリス)	<i>Tamias sibiricus</i>	△		重点対策外来種
ネズミ	マスクラット	<i>Ondatra zibethicus</i>	×	●	重点対策外来種
ヌートリア	ヌートリア	<i>Myocastor coypus</i>	×	●	緊急対策外来種
アライグマ	カニクイアライグマ	<i>Procyon cancrivorus</i>	×	●	その他の定着予防外来種
イタチ	フェレット	<i>Mustela Mustela furo</i>	△		その他の定着予防外来種
	チヨウセンイタチ	<i>Mustela sibirica</i>	×		重点対策外来種
	アメリカミンク(ミンク)	<i>Neovison vison</i>	×	●	重点対策外来種
ジャコウネコ	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>	×		重点対策外来種
マンゲース	ジャワマンゲース	<i>Herpestes javanicus</i>	×	●	侵入予防外来種
	シママンゲース	<i>Mungos mungos</i>	×	●	その他の定着予防外来種
シカ	アキシスジカ(アキシスジカ)属	<i>Axis spp.</i>	×	●	その他の定着予防外来種
	シカ属(ケラマジカを除く)	<i>Cervus spp.</i>	△※	●	重点対策外来種
	ダマシカ属	<i>Dama spp.</i>	×	●	その他の定着予防外来種
	シフゾウ	<i>Elaphulrs davidlanus</i>	×	●	その他の定着予防外来種
	キョン	<i>Muntiacus reevesi</i>	×	●	緊急対策外来種

※タイワンジカ(ハナジカ) *Cervus nippon taiouanus* の侵入記録あり

(2) 鳥類

定着状況
○: 定着
△: 侵入記録あり
×: 未侵入

1) 防除対策外来種(沖縄県に定着しており、生態系に影響があると考えられる外来種)

①重点対策種(2)

科	和名	学名	定着状況	特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト区分
キジ	コウライキジ	<i>Phasianus colchicus karpowi</i>	○		その他の総合対策外来種
	インドクジャク	<i>Pavo cristatus</i>	○		緊急対策外来種

②対策種(3)

科	和名	学名	定着状況	特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト区分
ヒヨドリ	シロガシラ(八重山諸島以外)	<i>Pycnonotus sinensis</i>	○		その他の総合対策外来種
カエデチヨウ	シマキンバラ(アミハラ)	<i>Lonchura punctulata</i>	○		
	ギンバラ	<i>Lonchura malacca</i>	○		

2) 定着予防外来種(沖縄県では未定着であり、定着を予防すべき種)

①重点予防種

該当種なし

②予防種(13)

科	和名	学名	定着状況	特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト区分
キジ	ウズラ	<i>Coturnix japonica</i>	△※		
ナンベイウズラ	コリンウズラ	<i>Colinus virginianus</i>	×		その他の総合対策外来種
カモ	カナダガン	<i>Branta canadensis</i>	×	●	緊急対策外来種
	コブハクチヨウ	<i>Cygnus olor</i>	×		その他の総合対策外来種
セイタカシギ	クロエリセイタカシギ	<i>Himantopus mexicanus</i>	×		その他の総合対策外来種
インコ	ワカケホンセイインコ	<i>Pittacula krameri manillensis</i>	×		その他の総合対策外来種
ヒヨドリ	シリアカヒヨドリ	<i>Pycnonotus cafer</i>	×	●	その他の定着予防外来種
メジロ	県外メジロ	<i>Zosterops spp.</i>	×		その他の定着予防外来種
チメドリ	ガビチヨウ	<i>Garrulax canorus</i>	×	●	重点対策外来種
	ヒゲガビチヨウ	<i>Garrulax cineraceus</i>	×	●	その他の総合対策外来種
	カオグロガビチヨウ	<i>Garrulax perspicillatus</i>	×	●	重点対策外来種
	カオジロガビチヨウ	<i>Garrulax sannio</i>	×	●	重点対策外来種
	ソウシチヨウ	<i>Leiothrix lutea</i>	×	●	重点対策外来種

※沖縄にはまれに飛来することもあるが、飼育個体の逸出が懸念される。

(3) 爬虫類

定着状況
○: 定着
△: 侵入記録あり
×: 未侵入

1) 防除対策外来種(沖縄県に定着しており、生態系に影響があると考えられる外来種)

①重点対策種(3)

科	和名	学名	定着状況	特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト区分
イグアナ	グリーンアノール	<i>Anolis carolinensis</i>	○	●	緊急対策外来種
ナミヘビ	タイワンスジオ	<i>Elaphe taeniura friesi</i>	○	●	緊急対策外来種
クサリヘビ	タイワンハブ	<i>Protobothrops mucrosquamatus</i>	○	●	緊急対策外来種

②対策種(9)

科	和名	学名	定着状況	特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト区分
イシガメ	ヤエヤマセマルハコガメ(石垣島、西表島以外)	<i>Cuora flavomarginata evelynae</i>	○		重点対策外来種
	ヤエヤマイシガメ(石垣島、西表島、与那国島以外)(交雑種を含む)	<i>Mauremys mutica kami</i>	○		重点対策外来種
	ミナミイシガメ(交雑種を含む)	<i>Mauremys mutica mutica</i>	○		その他の総合対策外来種
ヌマガメ	アカミミガメ(亜種ミシシippアカミミガメを含む)	<i>Trachemys scripta (亜種ミシシippアカミミガメ T. scripta elegans 含む)</i>	○		緊急対策外来種
スッポン	ニホンスッポン	<i>Pelodiscus sinensis japonicus</i>	○		重点対策外来種
	チュウゴクスッポン	<i>Pelodiscus sinensis sinensis</i>	○		その他の定着予防外来種
イグアナ	グリーンイグアナ	<i>Iguana iguana</i>	○		重点対策外来種
クサリヘビ	サキシマハブ(八重山諸島以外)	<i>Protobothrops elegans</i>	○		
	ハブ(自然分布域以外) (自然分布域: 伊平屋島、古宇利島、伊江島、瀬底島、屋我地島、伊計島、宮城島(うるま)、平安座島、敷地島、浜比嘉島、津堅島、浮原島、沖縄島、黒島(渡嘉敷)、城島、儀志布島、渡嘉敷島、渡名喜島、久米島、オーハ島)	<i>Protobothrops flavoviridis</i>	○		

2) 定着予防外来種(沖縄県では未定着であり、定着を予防すべき種)

①重点予防種(1)

科	和名	学名	定着状況	特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト区分
カミツキガメ	カミツキガメ	<i>Chelydra serpentina</i>	△	●	緊急対策外来種

②予防種(14)

科	和名	学名	定着状況	特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト区分
カミツキガメ	ワニガメ属	<i>Macrochelys spp.</i>	△		その他の定着予防外来種
イシガメ	チュウゴクセマルハコガメ	<i>Cuora flavomarginata flavomarginata</i>	×		その他の定着予防外来種
	ニホンイシガメ(交雑種を含む)	<i>Mauremys japonica</i>	△		
	ハナガメ(スジガメ)	<i>Mauremys sinensis</i>	△	●	その他の定着予防外来種
ヌマガメ	ニシキガメ属	<i>Chrysemys spp.</i>	×		その他の定着予防外来種
	チズガメ属3種 (ミシシippチズガメ <i>G. kohnii</i> フトマユチズガメ <i>G. ouachitensis</i> (サビンチズガメ <i>G. o. sabinensis</i> を含む) ニセチズガメ <i>G. pseudo geographic</i>)	<i>Graptemys spp.</i>	×		その他の定着予防外来種
	クーターガメ属	<i>Pseudemys spp.</i>	△※		その他の定着予防外来種
スッポン	アメリカスッポン属	<i>Apalone spp.</i>	×		その他の定着予防外来種

※リバークーター *Pseudemys concinna* の侵入記録あり

(3) 爬虫類

定着状況
 ○: 定着
 △: 侵入記録あり
 ×: 未侵入

科	和名	学名	定着状況	特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト区分
トカゲモドキ	ヒョウモントカゲモドキ	<i>Eublepharis macularius</i>	△		その他の定着予防外来種
イグアナ	ブラウンアノール	<i>Anolis sagrei</i>	×	●	その他の定着予防外来種
	特定外来生物のアノール属(グリーンアノール、ブラウンアノール除く) (アノリス・アルログス <i>A. allogus</i> アノリス・アルタケウス <i>A. altaceus</i> アノリス・アングスティケプス <i>A. angusticeps</i> ナイトアノール <i>A. equestris</i> ガーマンアノール <i>A. garmani</i> アノリス・ホモレキス <i>A. homolechis</i>)	<i>Anolis</i> spp.	×	●	その他の定着予防外来種
キノボリトカゲ	スインホーキノボリトカゲ	<i>Japalura swinhonis</i>	×	●	その他の総合対策外来種
ナミヘビ	ミナミオオガシラ	<i>Boiga irregularis</i>	△	●	その他の定着予防外来種
	特定外来生物のオオガシラ属(ミナミオオガシラを除く) (ミドリオオガシラ <i>B. cyanea</i> イヌバオオガシラ <i>B. cynodon</i> マングローブヘビ <i>B. dendrophila</i> ボウシオオガシラ <i>B. nigriceps</i>)	<i>Boiga</i> spp.	×	●	その他の定着予防外来種

(4) 両生類

定着状況
○: 定着
△: 侵入記録あり
×: 未侵入

1) 防除対策外来種(沖縄県に定着しており、生態系に影響があると考えられる外来種)

①重点対策種(1)

科	和名	学名	定着状況	特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト区分
ヒキガエル	オオヒキガエル	<i>Bufo marinus</i> (<i>Rhinella marina</i>)	○	●	緊急対策外来種

②対策種(5)

科	和名	学名	定着状況	特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト区分
ヒキガエル	ミヤコヒキガエル(宮古諸島以外)	<i>Bufo gargarizans miyakonis</i>	○		
アカガエル	ウシガエル	<i>Rana catesbeiana</i> (<i>Lithobates catesbeianus</i>)	○	●	重点対策外来種
ヌマガエル	ヌマガエル(沖縄諸島以外)	<i>Fejervarya kawamurai</i>	○		
	サキシマヌマガエル(自然分布域以外) (自然分布域: 池間島、宮古島、伊良部島、下地島(宮古)、来間島、石垣島、竹富島、小浜島、西表島、波照間島)	<i>Fejervarya sakishimensis</i>	○		
アオガエル	シロアゴガエル	<i>Polypedates leucomystax</i>	○	●	重点対策外来種

2) 定着予防外来種(沖縄県では未定着であり、定着を予防すべき種)

①重点予防種

該当種なし

②予防種(9)

科	和名	学名	定着状況	特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト区分
オオサンショウウオ	チュウゴクオオサンショウウオ	<i>Andrias davidianus</i>	×		重点対策外来種
ビバ	アフリカツメガエル	<i>Xenopus laevis</i>	×		その他の総合対策外来種
ヒキガエル	特定外来生物のヒキガエル属(オオヒキガエルを除く)	<i>Bufo</i> spp.			
	<ul style="list-style-type: none"> ブレーズヒキガエル <i>B. cognatus</i> キンイロヒキガエル <i>B. guttatus</i> アカボシヒキガエル <i>B. punctatus</i> オークヒキガエル <i>B. quercicus</i> テキサスヒキガエル <i>B. speciosus</i> コノハヒキガエル <i>B. typhonius</i> ヘリグロヒキガエル <i>B. melanostictus</i> 		×	●	その他の定着予防外来種
	ヨーロッパミドリヒキガエルなどヒキガエル属5種	<i>Bufo</i> spp.			
	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパミドリヒキガエル <i>B. viridis</i> テキサスミドリヒキガエル <i>B. debilis</i> ナンブヒキガエル <i>B. terrestris</i> ガルフコーストヒキガエル <i>B. valliceps</i> ロココヒキガエル(キャハンヒキガエル) <i>B. paracnemis</i> 		×		その他の定着予防外来種
ユビナガガエル	コキーコヤスガエル	<i>Eleutherodactylus coqui</i>	×	●	侵入予防外来種
	ジョンストンコヤスガエル	<i>Eleutherodactylus johnstonei</i>	×	●	侵入予防外来種
	オンシツガエル	<i>Eleutherodactylus planirostris</i>	×	●	侵入予防外来種
アマガエル	キューバズツキガエル(キューバアマガエル)	<i>Osteopilus septentrionalis</i>	×	●	侵入予防外来種
ヒメアマガエル	アジアジムグリガエル	<i>Kaloula pulchra</i>	×	●	その他の定着予防外来種